真岡市行政評価システム

評価対象年度　令和7　年度　　**事務事業評価マネージメントシート**　　作成日　令和8年3月13日

事務事業名	生活排水処理施設維持管理事業(水処理センター施設の維持管理)		担当課・係	上下水道部　下水道課　水処理係
政策名　No	4	「都市づくり」～暮らしやすさアップ！～	関連する SDGs･DX	
施策名　No	5	安定した上下水道サービスの提供		

成果指標 名称	単位	初年度からの実績値の比較 R7	R8	R9	R10	R11	目標値 R11
公共下水道、農業集落排水、合併処理浄化槽の普及率	%	88.3					93.0
下水道事業の経費回収率	%	87.6					100

事業内容

施設や設備等の長寿命化及び耐震化
　水処理センターは、快適な市民生活環境の確保と、河川等の水質保全を目的として計画された施設で、市民の生活排水等を浄化している。
　真岡市水処理センターは昭和58年3月から供用を開始し、標準活性汚泥法により処理水を五行川に放流している。
　真岡市二宮水処理センターは平成7年3月から供用を開始し、オキシデーションディッチ法により処理水を西川に放流している。
　また、両施設とも老朽化が進んでいるため、中長期的な施設の状態を予測しながら、計画的かつ効率的に管理する「ストックマネジメント計画」に基づき、点検・調査・改築・修繕等を実施している。

　令和6年度は「ストックマネジメント計画」に基づき、機械設備更新（汚泥ポンプ類）、電気設備更新（機械設備類に伴うもの）、耐震実施計画を行った。

前年度の課題（Check）

【課題】
　施設の老朽化が進んでいるため、適切な時期に修繕・更新等を行っていく。下水道事業の財政状況を鑑み、その中でも更に優先性を考慮して実施する。
　また、ストックマネジメント計画の対象となるものについては適宜、計画の見直しを行い、社会資本整備総合交付金を積極的に活用する。

7年度振り返り

【1】実績（Do）７年度に実施した事業
【実績】
　真岡市水処理センター水処理設備工事その15　機械設備更新（汚泥ポンプ類）
　真岡市水処理センター電気設備工事その21　　電気設備更新（機械設備類に伴うもの）

【2】結果と課題（Check）
【結果】
　処理場施設・設備の計画的な修繕・更新など適切な維持管理に努め、放流水質は基準を大きく下回っている。
【課題】
　計画的に設備の修繕・更新等を行うため、社会資本整備総合交付金等による事業費の確保が必要となる。

今後の方向性と具体策

□ 廃止　□ 休止　□ 目的絞り込み　□ 目的拡充　□ 事業統廃合　□ 事業のやり方改善　□ 予算削減　□ 予算増大　■ 現状維持(従来通りで特に改革改善しない)

【3】具体的な改善策(Action➡Plan)　課題に記載された内容の解決に向けた取り組みについて、**いつ、何を、どのように実施し解決に導くのかを具体的に**記載してください。

（1）ただちに取り組むべきこと
令和８年度に実施する真岡市二宮水処理センター耐震調査結果を、今後の修繕・更新等の計画に反映させる。

（2）長期的な計画で検討すること
下水道事業の財政状況を鑑み、優先性を考慮して設備等の修繕・更新等を行う。また、ストックマネジメント計画の対象となるものについては、適宜計画の見直しを行い、社会資本整備総合交付金を積極的に活用し対応していく。